

記載例

事業計画書

団体名： ○○日本語教室

事業名 <u>バスツアー～栗駒山と温泉を楽しむ～</u>	
事業の種類（該当するものに○） 1 国際交流 2 国際協力 3 国際理解 4 多文化共生	
事業対象者：○○市民どなたでも 参加見込人数 20 人（うち外国籍者数 10 人） 周知方法：A I A の 1 HP 2 Facebook 3 Instagram（必ず1つ以上選択してください。） 周知時期： ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日頃	
事業を企画した動機・目的（事業を企画するに至った問題意識） 市内で暮らす外国出身の方に秋田の自然に親しみ、日本の温泉文化を体験してもらうために、栗駒山のトレッキングと温泉に入るバスツアーを実施する。 秋田県で暮らしていながら、県内を観光する機会が持てない外国出身の方に、秋田の魅力を感じてもらい、また普段外国出身の方と接する機会のない市民が、外国人と交流することで異国の文化を知り、楽しみながらお互いに理解することを目的として実施する。	
事業内容 秋田県・岩手県・宮城県にまたがる東北の名峰 栗駒山の高山植物や火山地形などを知ってもらうためにネイチャーガイドを依頼し自然に親しんでもらう。 温泉マナーを知り、栗駒山荘で大自然の中の露天風呂を楽しんでもらう。 外国出身の方には日本文化を、市民には外国の方から出身国の自然等に関する情報を教えてもらい、互いの文化の違いを尊重し交流する。	事業日程・行程 事前ミーティング：2023年○月○日○○時 ○○公民館 持ち物などの連絡 当日：2023年○月○日○○時に○○まで集合 ○○時 バス出発 ○○時 栗駒山荘駐車場到着 ○○時 トレッキング出発 ○○時 昼食 ○○時 栗駒山荘温泉入浴 ○○時 解散
成果目標 外国出身の方が、トレッキングや温泉を体験することにより、現在暮らしている秋田県のことや日本文化について知ってもらい、さらに秋田県民が外国出身の方の文化に触れ、お互いの文化や習慣の違いを認識し、その違いを尊重することによって、多文化共生の促進を図る。	

※この用紙1枚で概略が分かるように書いてください。